

調査等事項報告（団体名：市政・公明クラブ）

視察（要望）先	茨城県下妻市
視察（要望）日時	令和4年7月13日（水）12時～16時
視察（要望）項目	コンパクトシティについて 観桜苑、WaiWai ドームしもつま（屋根付き多目的広場）
視察（要望）者	高橋菜穂子、矢萩浩次、秋葉新一、石澤祐一、 海老名幸司、大山正弘、田中正信、細矢清隆、 吉田 創（9名）
内 容	<p>1) 視察の目的</p> <p>下妻市は、どのような目的でコンパクトシティモデル事業に取り組むことにしたのか。</p> <p>①にぎわい拠点整備による中心市街地活性化</p> <p>②安心・安全で魅力ある移動空間の確保による中心市街地の回遊性の向上</p> <p>③中心市街地内外の既存ストックの活用及び連携強化による交流拡大</p> <p>2) 施設の概要</p> <p>砂沼周辺地区都市再生整備計画事業として、第13回まち交大賞国土交通大臣賞受賞 地方再生コンパクトモデルシティ事業総事業費 約270,000千円</p> <p>3) 施設の運営について</p> <p>さん歩の駅サンSUNさぬま事業 約515,000千円（用地費含む） 指定管理料 約6,000千円（年） waiwaiドームしもつま事業 約1,000,000千円（用地費含む） 管理費 約17,000千円（年）</p> <p>4) 研修の感想</p> <p>人口減少社会が予想される中、「人と自然を活かし住み良さを創るまち」下妻市の実現のため、持続可能な行財政運営を目指し各種施策を展開している姿に感銘を受けた。</p>

調査等事項報告（団体名：市政・公明クラブ）

視察（要望）先	東京都台東区
視察（要望）日時	令和4年7月14日（木）9時～12時
視察（要望）項目	公共施設（学校と社会教育施設）の複合化について
視察（要望）者	高橋菜穂子、矢萩浩次、秋葉新一、石澤祐一、 海老名幸司、大山正弘、田中正信、細矢清隆、 吉田 創（9名）
内 容	<p>1) 視察の目的 公共施設（学校と社会教育施設）の複合化について 昭和50年学校教育施設をコミュニティ施設として見直し、その整備活用を図る「コミュニティスクール」として学校を開放した。 小学校施設を拠点とした本区の地域コミュニティセンター活動を全国に先駆けスタートしたが、その目的は果たされたのか。</p> <p>2) 施設の概要 施設管理運営のすみわけはどうか。 小学校（6,608㎡）、幼稚園（464㎡）、社会教育センター（1,689㎡）、温水プール（1,906㎡）の、4つの施設が共有して利用する部屋はない。 児童が一般区民と交わることはない。学校が温水プールを利用する場合も一般利用者同様に1階受付から入る。</p> <p>3) 施設の運営について ・児童、一般区民が交わらないように警備体制が難しいとのこと。 ・ボイラー、空調などの管理を一緒に出来るのがメリット。しかし老朽化してきた際の改修費が膨大になるという事が難点。</p> <p>4) 研修の感想 児童が、生涯学習を続ける地域住民の姿を普段から感じ取れる環境で生活できることは他校には得がたい。 文化・スポーツ活動の地域の後継者として意識向上が期待される。</p>